

★ 4月といえば、桜

4月といえば、『桜』。桜色という言葉があるように、ただのピンクではない桜独特の色合いというのは非常に素敵なものです。毎年目にしていても、満開の桜には飽きることなく見惚れてしまいますね。ただ、そんな桜が見られる期間はごく短く、咲き誇った後にはさっと散ってしまう儚さや潔さも桜の魅力です。

今やそれを目的に来日する外国人観光者も多いお花見ですが、その歴史は非常に古く、元々は宗教的行事あるいは豊作祈願の行事でもありました。奈良時代には、花々ものを楽しむ行事となり、「万葉集」にも桜を詠んだ歌が残されていますが、当時は桜よりも梅がメインだったようです。平安時代になると桜が花見の主役になり、優雅な貴族たちが桜を愛でながら歌を詠む宴を開くようになりました。

「源氏物語」にも、その華やかな様子が描かれています。「古今和歌集」では、春の歌の多くが桜を詠んだものとなっています。現代でも、演歌からJ-POPにいたるまで桜の歌は多く、大ヒット曲もたくさんありますね。

近現代の文芸作品の中にも坂口安吾の「桜の森の満開の下」や水上勉の「桜守」、宇野千代の「薄墨の桜」など、桜を題材とした作品が多くあります。桜というのはこんなにも多くの人の心を惹きつけているのですが、一方で桜には妖しげな力があるともいわれています。“桜の樹の下には屍体が埋まってゐる”という衝撃的な出だしで始まる梶井基次郎の短編「櫻の樹の下には」は、主人公が

桜のあまりの美しさに不安を感じ、それは屍体という醜いものが樹の下に埋まっているからと想像することでその不安から解放される、という内容です。桜の美しさと妖しさは表裏一体なんですね。あまり知られていませんが、桜の花の香りには、1/3000の効果や2日酔い予防効果があるようです。だからといって、お花見での飲みすぎにはご注意ください。



★ 漢字の変換ができなくなったら...

パソコンを使っていると、突然の不具合に困ってしまうことが多々ありますね。中でも日本語の入力がおかしくなってしまうと、効率が悪くてイライラします。

例えば、「～の中で」と打ちたいのに「中」が出てこなくなるということがあるのです。「なか」と入力しても、「なか」「ナカ」「仲」などと変換され、肝心の「中」が出てこなかったりします。

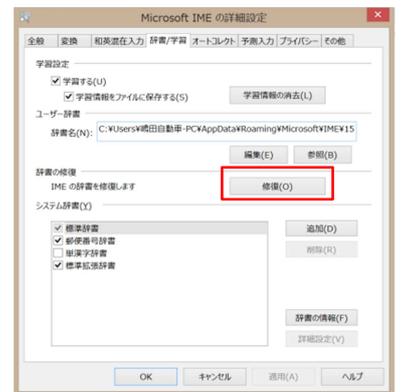
「ちゅう」で変換すれば「中」が出てくるのですが、いちいちそんなことはしてられません。こんな時は、Microsoft IME(文字入力用ソフトウェア)の辞書を修復しましょう。

まず、次の①または②の方法で「Microsoft IMEの詳細設定」(IME2010の場合は「Microsoft IMEのプロパティ」)画面(右図)を表示させます。(「コントロールパネル」からも表示可)

① 言語バーの「ツール」ボタンをクリック⇒「プロパティ」をクリック、

② 通知領域の「あ」あるいは「A」を右クリック⇒「プロパティ」をクリック⇒「Microsoft IMEの設定」画面の「詳細設定」をクリック。

「Microsoft IMEの詳細設定(プロパティ)」画面が表示されたら、「辞書/学習」タブの「辞書の修復」にある「修復」をクリックします。実行前に確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。完了時には実行結果が表示されますので、「OK」をクリックすれば完了です。これで、正しく日本語が入力されるようになるはずですよ。



★チラシ・フライヤー・会社案内・名刺など

デザイン制作・印刷 お任せ下さい!!

★ホームページ制作お任せ下さい!!

オリジナルデザインで更新しやすいホームページを!

今あるホームページの編集作業もお任せ!!

◎ パソコン本体・周辺機器 格安にご提供させて頂きます!

◎ パソコントラブル ご相談下さい!

◎ パソコン教室 無料体験実施中!

f マデコムのFacebook 始めました!! 是非アクセスして下さい!

<http://www.facebook.com/madecom.japan>



株式会社 マデコム

〒510-8122 三重県三重郡川越町豊田659-1

TEL : 059-366-0888

FAX : 059-366-0877

E-Mail : office@madecom.co.jp

URL : <http://www.madecom.co.jp>

発行 : 2016年4月1日

編集・作成 : 早川尚孝 / 中川香